

響

き

第四回

邦にまつわる
音楽鑑賞会

う

た




平成29年 1月9日(祝・月) PM2:00開演

東広島芸術文化ホール くらら 大ホール

東広島市市民協働のまちづくり活動応援補助金事業

主催 リナシメント「響き&うた」の会

協力 東広島市立中黒瀬小学校合唱部 合唱団うたがき 三善晃を唱う会

後援  公益社団法人日本演奏連盟 東広島市教育委員会 公益財団法人東広島市教育文化振興事業団
エリザベト音楽大学 尚音会(広島大学教育学部音楽科同窓会) 広島県合唱連盟 中国新聞社

今日は寒いなかご来場くださりましてありがとうございます。また、東広島市民協働のまちづくり活動応援の助成をいただきました本市関係所轄、ご後援、ご協力いただきましたみなさまにも厚くお礼申し上げます。

おかげをもちまして、「邦にまつわる音楽鑑賞会 響き うた」のコンサートは第四回目を迎えることができました。新ホールで演奏できること、ご活躍の奏者のみなさまにご出演いただくこと、公募による市民、学生、東広島市立中黒瀬小学校合唱部、合唱団うたがき、三善晃を唄う会のみなさまのご参加、ご協力により合唱ステージを組めることを大変嬉しく思います。

このたびは、前半は邦楽作品、後半は、合唱、ピアノの現代作品でプログラムを組みました。新春にふさわしい作品、演奏をお楽しみいただき、現代の作品のイメージや、「今」、「未来へ向けて」のメッセージも感じていただければ幸いです。

遠方、稽古にお越しくくださった客演指揮の西岡茂樹先生、ご出演のみなさまに心より感謝申し上げます。

本年が穏やかな年になりますよう、みなさまにとりまして良い年になりますよう祈念致します。

リナシメント「響き&うた」の会 山村ひとみ

プログラム

鹿の遠音	作者不詳	尺八 中村 亮太
残月	峰崎 勾當 作曲	箏 中村 あゆみ 尺八 中村 亮太
手事	宮城 道雄 作曲	箏 中村 あゆみ
星の誘い	池上 眞吾 作曲	箏 中村 あゆみ 尺八 中村 亮太
明鏡	杵屋 正邦 作曲	三絃 中村 あゆみ 尺八 中村 亮太

宮城 道雄 歌曲集より	せきれい	北原 白秋 作詞	ソプラノ 山村 ひとみ
	紅薔薇	小林 愛雄 作詞	箏 中村 あゆみ
	嘆き給ひそ	西條 八十 作詞	尺八 中村 亮太
	手鞠	西條 八十 作詞	

— 休憩 (15分) —

ぼくらのエコー	荒井 良二 作詞 大田 桜子 作曲	東広島市立中黒瀬小学校合唱部
同声合唱曲集『もういちどの星』より	「友だちになるために」	指揮 内藤 律充
	里乃塚 玲央 作詞 大田 桜子 作曲	ピアノ 柳田 信策

風の環礁 ピアノのために	伴谷 晃二 作曲	ピアノ 柳田 信策
--------------	----------	-----------

プレイアデス舞曲集より	吉松 隆 作曲	ピアノ 加島 裕子
「夕暮れのアラベスク」		
「プラタナス・ダンス」		
「真夜中のノエル」		
「ロンドの風景」		
インナー・パッセージII ～ソロピアノのための～ (2013)(委嘱作品)		丹生 ナオミ 作曲

谷川俊太郎の詩による三善晃の合唱作品	合唱団 響き&うた
混声合唱のための『地球へのバラード』より 「私が歌う理由」	客演指揮 西岡 茂樹
混声合唱とピアノのための『その日 - August 6 -』	ピアノ 福政 歩
混声合唱曲集『木とともに 人とともに』より 「空」	

「木とともに 人とともに」

同声合唱曲集『もういちどの星』より

「友だちになるために」

里乃塚 玲央 作詞 大田 桜子 作曲

♪美しい歌詞とメロディーの動きを感じて歌います。途中に出てくる少しシビアな音楽には、言葉の深さをしっかり表現します。最後に出てくる「優しさ」「平和」「友情」「未来」という言葉を、心の中から感じ取って歌います。

風の環礁 ピアノのために

伴谷 晃二 作曲

♪作曲者のイメージした響きとその変化。また、時間と音がどのように空間を彩るか…。各々の感性で聴いていただきたいと思います。

「プレイアデス舞曲集」より

吉松 隆 作曲

♪「夕暮れのアラベスク」
夕暮れ時の空が様々な色に変化していくような…。

♪「プラタナス・ダンス」
プラタナスとはスズカケの木のことで、もみじの葉を少し大きくしたような葉を持つ木で、街路樹などでよく見られます。揺れ動く葉を描いているのでしょうか。

♪「真夜中のノエル」
「ノエル」とはクリスマスの季節や歌のこと。静まりかえったクリスマスの夜、ちょっぴり暖かい気持ちになる曲です。

♪「ロンドの風景」
冒頭に出てくるメロディが、リズムや強さを変えて何度も現れます。作品の題名と、音の響きから、どんな情景が浮かんでくるでしょうか。想像をふくらませて楽しんでもらえたらと思います。

インナー・パッセージII ～ソロピアノのための～

丹生 ナオミ 作曲

♪心の中の様々な動きを、ピアノの一番低い音から一番高い音まで使って表現されています。

谷川俊太郎の詩による三善晃の合唱作品

♪谷川俊太郎さんの詩は心に響く言葉でわたしたちに語りかけます。その詩を作曲した三善晃さんは、合唱の響きやピアノで何を伝えたかったか感じてみてね。

コンサートの聴き方

♪生の音なので、静かに聴こうね。でも、緊張しないで、リラックスして楽しんでね。

♪何曲か続けて演奏される時は、曲のまとまりが終わったところで拍手しようね。1曲ずつ拍手しなくてもいいので、プログラムの構成や変化を感じて楽しんでね。

児童、生徒のみなさんへ 鑑賞の手引き

鹿の遠音

作者不詳

♪宮島では神さまの使いとされている鹿ですが、どんな鳴き声で鳴くのでしょうか？何を伝えようとしているのでしょうか？想像してみましょう。

残月

峰崎 勾當 作曲

♪作曲者の生徒のお嬢さんが若くして亡くなってしまった時に、その死を惜しんで作られた曲です。悲しい雰囲気ですが、亡くなったお嬢さんが寂しくないように、楽しかった思い出のような華やかなきれいな部分もある素敵な曲です。

手事

宮城 道雄 作曲

♪箏だけで演奏される、にぎやかな雰囲気曲です。速さが早くなったり遅くなったり、リズムに乗って楽しもう。

星の誘い

池上 真吾 作曲

♪箏と尺八の音で、冷たく暗い宇宙に光る星たちを表現しているよ。きれいな曲だけど、ロマンティックになりすぎないように作曲されているんだ。星がチカチカする宇宙に浮かぶような気分になれるかな？

明鏡

杵屋 正邦 作曲

♪尺八と三味線が会話をしながら、曲の雰囲気がどんどん変わっていくよ。それぞれの楽器の音色を楽しみながら、曲の雰囲気に合わせた場面を想像しながら聴いてみよう！

宮城 道雄 歌曲集より

♪「せきれい」は長い尾をふる鳥で、神の鳥といわれています。
♪紅薔薇は、赤いばらです。
♪「嘆き給ひそ」は恋に悩む人を慰めています。
♪「手鞠」は鞠が手から落ちるのを失恋とかけて唄っています。
自然の鳥や花の様子や、人の気持ちを箏、尺八、唄で表現しています。どんな様子かどんな気持ちかわかるかな？

ぼくらのエコー

荒井 良二 作詞 大田 桜子 作曲

♪一人の声から、二人、三人と友だちがどんどん集まって、歌声がエコーのように響き合っていく。その声は山を越え、海を越え、すごい力を生み出すことができる。そんなイメージで盛り上がっていく元気が出る曲です。一人ではできないことも、みんなで力を合わせるとすごいパワーが生まれる。心と響きを一つにし、みんなのエコーを未来に届けます。

鹿の遠音

作者不詳

深山に響き渡る鹿の鳴き声を表現したとされる曲。本来この曲のみに使われる「ムラ息」という手法は、人間国宝であった故・山口五郎氏により他曲にも広められ、いまや尺八の代名詞となった。

古典本曲(尺八のみで演奏され、各地の寺院や虚無僧に伝わる曲)の中で唯一、二管で演奏される曲であるが、本日は独奏する。

残月

峰崎 勾当 作曲

天明・寛政期に峰崎勾当(生没年不詳)の門人であった宗右衛門町の松屋某の娘が夭逝したことを偲んで、その追善のために作られた曲。曲名は故人の法名〈残月信女〉によっているという。

悲しみを表した緩やかな前歌と打って変わり、華麗な技巧を駆使し華やかに展開する手事は故人への手向けとも感じられる。

曲は前唄、手事五段、チラシ、後唄から成り、手事は初段と二段、三段と四段とで段合わせが可能。様々な三絃の替手や箏の手が作られており、「京残月」「大阪残月」などと呼び分けられている。

本日は、一部抜粋にて演奏致します。

磯辺の松に葉隠れて、沖の方へと入る月の
光や夢の世を早う 覚めて真如の明らけき
月の都にすむやらん

今は伝だに朧夜の 月日ばかりは巡り来て

手事

宮城 道雄 作曲

手事とは、地歌・胡弓楽における歌と歌の間にある長い器楽部分のことです。地歌に箏が合奏されるようになり箏曲にも受け継がれました。

宮城道雄(1894~1956)作曲の「手事」は、地歌の中の手事を箏単独の器楽曲様式として抽出し作られたものです。

曲は3つの楽章に分かれています。

一、「手事」…昔から伝わった手事を感じを取り入れて形式的な作曲を試みたもの。

二、「組歌風」…一唄毎に六十二拍子、と拍子数の定まった箏曲の古い形である組歌形式を取り入れて、静かな感じを表したもの。

三、「輪舌」…かき爪を多用した乱輪舌の形式を試みた早い感じの曲。

本日は、一楽章を演奏いたします。

星の誘い

池上 眞吾 作曲

青白く妖しげに光る星々。我々をミステリアスで冴え冴えとした空間へと導く、箏と尺八の澄んだ音色。きれいなメロディーときらきらとした音使いの曲ですが、ロマンティックなムードになりすぎないよう、神秘的で冷たい雰囲気表現するために、部分的に箏の左手と尺八はCmoll、箏の右手はGmollという二重調性が用いられています。また、奏者にもさらりとした、感情を抑えた演奏が要求されます。

明鏡

杵屋 正邦 作曲

尺八が胡弓に代わって三曲構成(尺八・胡弓+三絃+箏)の一翼を担うようになってからすでに久しく、今では一般に、尺八の合奏は箏曲系の楽器や奏者によるものが最も自然で、且つ、融合しやすいと考えられているようです。正にその通りであろうかとも思われますが、翻って、尺八本曲、就中、琴古流系の演奏に思いを致す時、その間合いや呼吸法には、長唄を含む三味線音楽のそれと極めて相似するものがあり、そこに新しい組合せの可能性を感取することができます。

「明鏡」は、作曲者のそのような受けとめ方の適否を具体的に知る抛り処の一つとして書かれた作品です。先ず、遅い部分のやりとりが始まり、次で軽快な動きから、やや長めのフレーズの交互演奏、転じて急速調となり、最後に冒頭と異なる遅い曲調をもって終わります。昭和50年6月28日 作曲。

杵屋正邦(1914-1996)は長唄三味線の演奏家ですが、作曲を学び、三味線だけでなく尺八、箏などの邦楽器や声楽、洋楽器で千数曲にも上る曲を作曲しました。その範囲は映画の劇中歌や舞台音楽にまでに及びます。

「明鏡」は、尺八と三味線が互いに呼応しながら曲調が次々と変化していく所が大変魅力的で面白い曲です。本来は尺八と長唄三味線で演奏される曲ですが、本日は尺八と地歌三味線の演奏でお送りいたします。

宮城道雄 歌曲集より

伝統に根ざしながら、洋楽を取り入れた宮城道雄は、当時創作された詩による新たな歌曲を多数作曲し、邦楽器を伴う洋楽の様式の歌曲創作を先駆した。それらは協奏的な作風で、唄よりも邦楽器演奏の方が主であるかのような感もある。

一、山川のたぎつせの

せのせの岩にいる鳥の
尾をふる鳥のせきれいの
ふとその岩を飛びさんぬ

二、山川のたぎつせの

せのせの岩にいた鳥の
尾をふる鳥のせきれいの
まだいるようでさむい冬の日

——三拍子の軽快な箏の伴奏は谷川のせせらぎを描写し、唄の途中、箏と尺八のスタッカートで尾をふる動きが表される。有節の歌曲の後奏の最後にせきれいがパッと飛び立つさまが表されている。
大正10年作曲。

べに そうび
紅薔薇

小林 愛雄 詞

あけがた いのち にほ
明方の生命に香ふ

春の乙女の紅薔薇

咲く朝は空を見て

露ふくみ静やかに

ほゝえむに

風は吹き雨にうたれ

散りゆく宵も

音を立てずただうなだる

——紅バラを清らかな乙女にたとえた詞に、唄と箏・尺八の旋律が相互にカノン風に曲づけされている。陽旋法から陰旋法に変化し、唄と手がオクターヴ違いで静かにたどるような新しい旋律は、斬新であった。大正9年作曲。

嘆き給ひそ

西條 八十 詞

嘆き給ひそ はかなきは

この世の恋の さがなれば

うらみ給ひそ 別るは

あひみし人の 常なれば

あふぎ給へな 夕月は

今宵もいかに さやかなる

——失恋を嘆く者を慰める小歌曲。唄を主に、尺八が助奏し、箏が伴奏する。昭和4年作曲。

一、春の日に 春の日に

てんでてまりが ころころと
あなたのお手から落ちました
返らない赤いまり
ころころと春の日に
春の日に

二、春の日に 春の日に

わたしの心が ころころと
あなたの胸から落ちました
返らない恋かなし
ころころと春の日に
春の日に

——技巧をこらした箏と尺八の器楽に童曲風の軽快な歌の旋律が唄われる。前奏で尺八がまりつき唄のように唄い、箏がまりつきの音や様子を描く。押し放し（左手で絃を押ししたまま絃を弾き、そのあと左手を放すと余韻が下がる）の技巧が手鞠のはずむ様を効果的に表している。昭和25年作曲。

ぼくらのエコー

荒井 良二 作詞 大田 桜子 作曲

この作品は、第83回NHK全国学校音楽コンクール小学校の部の課題曲。絵本作家としても有名な新井良二。2012年NHK連続テレビ小説「純と愛」の題字とオープニングイラストを担当。1999年「なぞなぞのたび」でポローニャ国際児童文学図書展特別賞受賞。2005年、世界的な絵本賞として知られるアストリッド・リンドグリーン記念文学賞をスウェーデン政府から贈られる。日本大学芸術学部美術学科卒業。

作曲は、第75回NHK全国学校音楽コンクール小学校の部課題曲「この☆(ほし)のゆくえ」の作曲や第82回NHK全国学校音楽コンクール中学校の部課題曲「プレゼント」の編曲等、多くの合唱曲を手がけ、魅力的なメロディー作りには定評のある大田桜子。東京藝術大学卒業、同大学大学院修了。

お二人からのメッセージの一部を引用します。

〔新井 良二〕 …声を出して、楽しむこと。歌うことが好きだって気持ちを大事にして歌ってもらえたらうれしいです。

〔大田 桜子〕 …一人ではできないことも、みんなで力を合わせるとすごいパワーが生まれる。合唱はまさにその一つです。…皆さんのエコーを未来にまで届けてください。…

ぼくらのエコー

荒井 良二 詞

たいようの声
おはようの声
ぼくらのまうえにふりそそぐ
山をこえ 海をこえ
いちにちの ぼくらの
はじまりの声

おおむかしの声
はるかみらいの声
せかいにきつとかたりかけてる
ここをこえ 空をこえ
いつでも ぼくらの
はじまりの声

声があるく
声をはしる
みんなちがった声でいい
声よ 山になれ
声よ 海になれ
声よ 声よ そこをこえよ!

ぼくらの声
ぼくらのエコー
おおむかしの声
みらいへのエコー

同声合唱曲集『もういちどの星』より

「友だちになるために」 里乃塚 玲央 作詞 大田 桜子 作曲

この作品は、3曲からなる同声合唱組曲「もういちどの星」のなかの1曲。作詞は、アニメソングの作詞でも知られる里乃塚玲央。NHK教育テレビで、1995年から9年間続いたなんでもQシリーズでは、多くの楽曲を作詞。「おかあさんといっしょ」「いないいないばあっ!」「みんなのうた」などにも作品を提供。作曲は、「ぼくらのエコー」と同じく大田桜子。

お二人からのメッセージの一部を引用します。

〔里乃塚 玲央〕「友だちになるために」は、名まえの詩です。…ひとつひとつに名まえがあるのは、それが、どれもみんなひとつしかない、大切なものだからです。好きなものだけじゃなくて、嫌いなものにも、ちゃんと名まえがあります。全部を大事に思えたらいいな。

〔大田 桜子〕私たち人間は、美しさや、優しさを感じる能力を誰もが持っていますが、それは使わないと衰退してしまう…それを感じる

能力は育てていかなければならないのです。……美しい歌詞とメロディーの動きを感じて歌いましょう。

友だちになるために

里乃塚 玲央 詞

野に咲く花に ひとつひとつ
名まえを つけたのは 誰
そこに集まる 鳥や虫を
名まえで 呼んだのは なぜ

きっと 出会って うれしくなって
ずっと 心に おぼえてたくて
そして みんなと 友だちになるために

夜空の星に 一個一個
名まえを つけたのは 誰
それを集めて 星座にして
名まえで 呼んだのは なぜ

きっと きれいに 光ってたから
ずっと 見つめて いたかったから
そして 宇宙と 友だちになるために

「スマイル」「ヒバリ」「金星」「銀河」

人の気持ちに ひとつひとつ
名まえ つけたのは 誰
喜びだとか 悲しみとか
名まえで 呼んだのは なぜ

きっと 自分で 感じたことを
もっと わかって もらいたくって
そして ほんとの 友だちになるために

山や川にも 一個一個
名まえを つけたのは 誰
生まれた町や よその国も
名まえで 呼んだのは なぜ

きっと みんなが 集まり合って
もっと いっしょに 微笑みたくて
そして 世界が 友だちになるために

「優しさ」「平和」「友情」「未来」

風の環礁 ピアノのために 伴谷 晃二 (1947~) 作曲

この曲は、1993年11月25日「伴谷真知子ピアノリサイタル」

(於、東京・音楽の友ホール)において、初演されたものである。

『風の環礁、トランペット、ヴォイス、プリペアードピアノのために』(1991)、『風の環礁、オーケストラのために』(1993)、『風の環礁、クラリネット、ヴォイス、ピアノのために』(1994)、『風の環礁、古代笛、パーカッション、二十絃箏のために』(1994)などと連作になっているこの曲は、全体を一連の多様な面の連鎖として捉え、円環的な多面体として位置づけている。また、音楽上では、スレーベルやカウベル、それにタム・タムなどの金属質の打楽器を中心としたソロ・パーカッションのイメージをピアノに投影している。

(作曲家より)

プレイアデス舞曲集より

吉松 隆 作曲

「夕暮れのアラベスク」「プラタナス・ダンス」

「真夜中のノエル」「ロンドの風景」

NHK大河ドラマ「平清盛」の音楽担当としても活躍の作曲家・吉松隆(1953~)の作品は、現代音楽には珍しく調性的で、また独特の変拍子を採用した極めてリズム的な作風を展開している。

プレイアデス舞曲集もやはり調性感や教会旋法による神秘的で透明感のある響きが特徴的です。抒情性や躍動感に溢れた一曲一曲は演奏するにしても鑑賞するにしても楽しい作品です。

インナー・パッセージII

~ソロピアノのための~(2013)(委嘱作品)

丹生 ナオミ 作曲

作曲家・丹生ナオミは、東京藝術大学作曲科を卒業後、ボストン・ニューイングランド音楽院大学院作曲科首席修了し帰国。自身の作曲活動に加え、NHKドラマ音楽の作曲、「名曲アルバム」、「みんなの童謡」など多数の番組の編曲を担当して活躍している。

この作品は 2001 年、チェリスト黒田育世の委嘱により作曲した『インナー・パッセージ~無伴奏チェロのための~(2001)』から 12 年の時を経て作曲された作品。上記のチェロの為の作品は、ボストン留学時代、彼女自身が感じた日本人特有の感覚を強く意識せられていた環境と時間の中で「沈黙」や「間」、そして彼女自身のもつ“うた”をテーマとして作曲。それから 12 年という時を重ね、彼女自身に問いかけながら再び原点でもある“うた”をテーマとし 2013 年にピアノソロのための作品を作曲。

谷川俊太郎の詩による三善晃の合唱作品

谷川 俊太郎 (1931~)

東京生まれ。1952年第一詩集「二十億光年の孤独」出版。以降、詩、エッセイ、脚本、翻訳などの分野で執筆。主な詩集に「21」「落首九十九」「ことばあそびうた」「定義」「みみをすます」等。彼の詩による歌曲、合唱曲は極めて多い。同じ詩に複数の作曲家が曲づけているものもある。

三善 晃(1933~2013)

東京生まれ。幼少から自由学園の音楽室で学び、小学校に入ったところから平井康三郎に作曲とヴァイオリンを師事。東京大学文学部仏文科在学中の53年に「ソナタ」が日本音楽コンクール作曲部門第1位、54年「ピアノと管弦楽のための協奏曲」が、第3回尾高賞、文化庁芸術祭奨励賞を受賞。55年給費留学生としてパリ音楽院に留学、アンリ・シャラン、レイモン・ガロア・モンブランに師事。アンリ・デュティユーの影響も受ける。57年帰国、東京大学に復学し60年に卒業。管弦楽、室内楽はもとより歌曲、とくに合唱作品に優れた作品を生み出す。99年初のオペラ「遠い帆」が初演された。

63年から桐朋学園大学で後進の指導に当たり、74年~95年まで桐朋学園大学学長を務めた。

絶望を糧とした愛から流れ出す歌

客演指揮 西岡 茂樹

まずは何はともあれ、日本が世界に誇る現代音楽の巨人・三善晃先生の合唱作品をこの演奏会にとりあげられたご見識に心から敬意を表すると共に、三善作品のエキスパートとして私を招へい下さったことに、心から感謝申し上げます。

私は20歳の頃に三善晃先生と出会い、とても大きな衝撃を受け、以来、40年以上に亘り三善先生の合唱作品を追い続けてきました。

三善先生は「私は絶望を糧としていない愛を信じることができませぬ」と仰いました。三善先生は1933年生まれ。1931年が満州事変、1941年が真珠湾攻撃ですから、まさに戦争の足音が日に日に高くなる時代に幼少期を過ごされたわけです。1945年の終戦直前には、米機からの機銃掃射で九死に一生を得る経験もされています。そのような、生と死が日常で隣り合わせている絶望的な時代を経て、戦後、再び音楽の道を歩み始められたわけで、三善先生にとっての創作活動の原動力は、生命の尊さ、戦争の愚かさ、そして生きとし生けるものへの限りない愛であると思われます。それが“三善先生が歌う理由”なのです。

絶望を糧とした愛からすべての歌が流れだしてきます。

「空」では、愛する人が傍らにいない寂しさを、「木とともに人とともに」では、引き裂かれがちな人と自然、人と人の共生を、「その日 - August 6 -」ではヒロシマに投下された原爆の悲惨から歌が流れだしてきます。

しかし、三善先生は絶望していない。愛の力で前に歩もうとされている。それが私たちの心を激しく打ちます。勇気をいただけませぬ。本日はお聴きくださる皆様にもそれが届くことを願ってやみません。

混声合唱のための『地球へのバラード』より 「私が歌う理由」

東大柏葉会の委嘱により昭和 58 年作曲。人間をふくむ地球への愛を歌いたい、という同会の要望により、全詩作から「私が歌う理由」「沈黙の名」「鳥」「夕暮」「地球へのピクニック」に作曲。

「私が歌う理由」は、やさしい言葉で壮絶な場面が描かれる。絶望の極みが長調で歌われる。

私が歌う理由

谷川 俊太郎 詩

私が歌うわけは
いっぴきの仔猫
ずぶぬれで死んでゆく
いっぴきの仔猫

私が歌うわけは
いっぼんのけやき
根をたたれ枯れてゆく
いっぼんのけやき

私がうたうわけは
ひとりの子ども
目をみはり立ちすくむ
ひとりの子ども

私が歌うわけは
ひとりのおとこ
目をそむけうずくまる
ひとりのおとこ

私が歌うわけは
一滴の涙
くやしさといらだちの
一滴の涙

混声合唱とピアノのための『その日 -August 6-』

テキストは谷川俊太郎の詩集「シャガールと木の葉」に収録されている広島原爆をうたった詩。その悲惨、風化、祈りの三章からなる。

三善は「その日そこになかったこと」の故知らぬ原罪感が冒頭から終始するテーマになった。ピアノは私を告発し、断罪し、何かを刻印して去ってゆく。それは、私が幻の灯籠を捧げるべき、無数の無名の人たちとの靈魂と出会う手がかりかもしれない。あるいは、今もって苦しみ続ける人たちとの抱擁のよすがでもあろうか。」と述べている。

ヒロシマへの想いは、過去に起きた、また今起きているすべての戦争を投影し、未来へ警告する。人間の原罪、無意識の内面をも音楽で描いたこの作品は、三善氏の遺言であり、現代音楽史上の傑作である。

「合唱団ある」の委嘱、2007年6月23日初演。

その日 -August 6-

谷川 俊太郎 詩

苦しみという名で
呼ぶことすらできぬ苦みが
あなたの皮膚から内臓へ
内臓からこころへ
こころから私が決して
行き着くことのできぬ深みへと
歴史を貫いていまも疼きつづける

その日私はそこになかった

今日 子どもたちの
傷ひとつない皮膚が
その日と同じ太陽に輝き
焼けただれた土を養分に
木々の緑が夏を歌う
記憶は無数の文字の上で
鮮度を失いかけている

その日私はそこになかった

私はただ信じるしかない
怒りと痛みと悲しみの土壌にも
喜びは芽生えたと

死によってさえ癒されぬ傷も
いのちを滅ばすことはない
その日はいつまでも
今日でありつづけると

混声合唱曲集『木とともに 人とともに』より 「空」

「木とともに 人とともに」

この合唱曲集には、「木とともに 人とともに」「空」「生きる」の3曲が
収められている。

「木とともに 人とともに」は1999年11月の東京文化会館主催第1
回合唱の祭典「上野の森コーラスパーク」のテーマ曲。原曲のア・
カペラのほかに、ピアノと童声の譜を書き加えた。

「空」の原曲は谷川さんの「歌のように」(The Gold 誌掲載)から作曲
した独唱のポップス曲の一つ。97年1月の合唱団「松江」'97の委
嘱で合唱曲に編曲。

今日は、この曲集から「空」「木とともに 人とともに」の順で演
奏し、自然豊かな賀茂大地東広島にもふさわしい曲で締めくくりま
す。

空

谷川 俊太郎 詩

かたわらにいないと
あなたはもうこの世にいないかのようだ
窓から見えてる空がさびしい
ひろげたまんまの朝刊の見出しがさびしい

顔を見ていないと
あなたはもうお墓に入っているみたい
私はひとりで空を見ている
天国でよりもあなたとは地獄で会いたい

いつも一緒にいたい
未来はあといつまで続くのだろうか
空のむこうにも空があるだけ
だからひとりでは見たくない怖くなるから

早く帰ってきて
さびしさは甘えじゃない
さびしはふたりで生きている証し

木とともに 人とともに

谷川 俊太郎 詩

木とともに私は歌う
大地から声を吸い上げ
言の葉を光にさらし

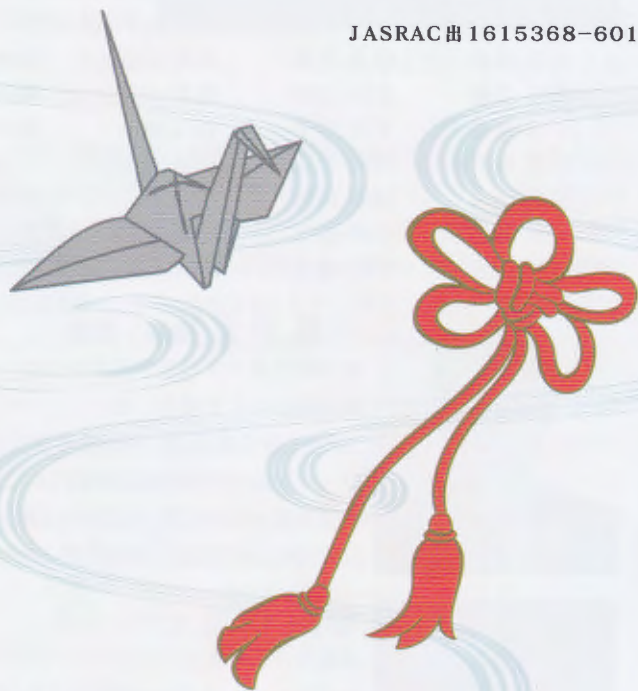
大空へ心なげうち
木とともにあなたとともに
私は歌う 緑なす森になるまで

声よ湧け 私のうちに
花々の声 水の声
そよ風の声 いのちの声

人とともに私は歌う
声あげぬ声をもとめて
つぶやきと叫びのはざま
せめぎあう笑いと涙
人とともにあなたとともに
私は歌う 歌声の星座めざして

声よ湧け あなたのうちに
思い出の声 明日の声
物語る声 初めての声

JASRAC 曲 1615368-601



訂正とお詫び
ご案内のチラシに記載の「プラタナ・ダンス」は、正しくは「プラタナス・ダンス」です。
訂正申し上げます、みなさまにお詫び申し上げます。

プロフィール



中村 亮太 尺八

山口県宇部市出身。中央大学在学中に大学内の和楽器サークル「竹桐会」にて尺八に出会い、同サークル外部講師であった菅原久仁義氏に卒業後も師事。琴古流尺八、古典本曲を学びながら、ジャズ、ポップス、クラシック等に取り組み、カフェ、バー、ストリート他様々なシーンでの演奏をこなす。2016年に「社会人が負担なく和楽器を続けられる、カムバックできる環境を」というコンセプトで「広島和楽器倶楽部」を発足、代表を務める。「たけのこ合奏団」団員。



中村 あゆみ 箏・三絃

生田流宮城社師範。東京芸術大学音楽学部邦楽科卒業。箏・三絃を永田文子、深海さとみ両氏に師事。98年第16回全国小・中学生箏曲コンクール牧本賞を受賞。同コンクール中学生個人の部最優秀賞を受賞。99年ひろしまフェニックス賞、広島県メイプル賞を受賞。宮城会主催コンクール演奏部門児童部1位。第9回くすのき芸文の里箏曲コンクール山口県知事賞を受賞。大学在学中、「The Asian String Sound」韓国公演に参加。11年宮城道雄記念コンクール演奏部門一般部第1位。現在は広島をメインに演奏活動を行う傍ら自宅にて教室を開講、後進の指導にあたっている。森の会、福山リーデンローズ(箏)アンサンブル会員。箏曲会「西の風」主宰。



山村 ひとみ ソプラノ

広島大学教育学部音楽科卒業。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部修了後、藤原歌劇団合唱部メンバーとして7年間、舞台経験を積む。1990～1996年の隔年で、イタリア、ルーマニアの夏期声楽、オペラセミナーを受講。国内のセミナーでも研鑽する。日本オペラ振興会新人演奏会、第57回日本演奏連盟新人演奏会に出演。オペラ、オラトリオ、各種コンサートのソリストを多数務める。'98、'03、'15年にリサイタルを開催。後進の育成にも努める。これまでに益田遙、日比啓子、三部安紀子、松本美和子、平野満の各氏に師事。コロソ・ディ・カント、中国新聞文化センター講師。藤原歌劇団正団員。日本演奏連盟会員。

東広島市立中黒瀬小学校合唱部



平成25年4月に設立。

第80回NHK全国学校音楽コンクール広島県コンクール 奨励賞受賞(初出場)

第81回NHK全国学校音楽コンクール広島県コンクール 銀賞受賞

第83回NHK全国学校音楽コンクール広島県コンクール 金賞受賞 広島県代表

第83回NHK全国学校音楽コンクール中国ブロックコンクール 銀賞受賞

第84回NHK全国学校音楽コンクール広島県コンクール 金賞受賞 広島県代表

第84回NHK全国学校音楽コンクール中国ブロックコンクール 銅賞受賞

東広島交流音楽祭4回出演 東広島・呉自動車道開通式典出演(国土交通省・広島県主催)

西田 望夢	藤井 結菜	藤井 亜衣	宮崎 航輔	岡野 菜摘	河野 真白	中野 瑛二郎	出本 琴音
島谷 美憂	吉岡 美夢	藤本 大智	奥川 千寛	室岡 悠志	成川 亜実	満田 燈也	濱岡 真咲
小西 遥香	下川 涼子	長内 璃音	福澤 心優	大西 千紘	矢野 純至	西本 隼人	岡田 怜奈
桑原 帆乃佳	濱岡 愛咲	平松 虎太郎	山岡 謙心	大久保 優月	光吉 真優	吉岡 美月	川崎 明音
梶村 淳人	樽本 翔琉	山岡 篤弥	上野 史佳	矢野 碧姫	菅田 優菜	川口 太尊	和田 花奈
大原 葵季	小西 彩海	室岡 美鈴	吉本 日向	満田 壽也	中野 愛子	出本 航輝	久保 和華
藤河 夏音	和田 瑠央奈	松村 悠樹奈	藤岡 晴香	井上 真緒	北野 美紗	藤原 由奈	



内藤 律充^{のぶみち} 指導・指揮

武蔵野音楽大学音楽学部声楽学科卒業。同大学大学院音楽研究科音楽教育専攻修了。平成13年度全日本音楽教育研究会全国大会大学部においてテーマ「小学校における音楽的感性の形成過程に関する一考察 ～モデリングの概念を通して～」で研究発表。他、東京を中心に音楽教育研究会での研究発表実績がある。現在、中黒瀬小学校マーチングバンドクラブ・中黒瀬小学校合唱部両顧問として、全日本小学校バンドフェスティバル広島県大会金賞受賞・広島県代表。中国大会金賞受賞・中国代表。全国大会においてこれまで金賞、銀賞受賞。また、NHK全国学校音楽コンクール広島県コンクール2年連続金賞受賞・広島県代表。中国ブロックコンクールにおいてこれまで銀賞、銅賞受賞。東広島市立中黒瀬小学校教諭。



柳田 信策 ピアノ

武蔵野音楽大学、ウィーン・コンセルヴァトワール 演奏家コースを最優秀の成績で卒業。オーストリア、ルーマニア各地でリサイタル、TVラジオ出演をはじめ、東京、広島でリサイタルを開催。藤岡幸夫指揮関西フィルと共演、別府アルゲリッチ音楽祭、大阪堺芸術祭参加他、室内楽、コンクール審査、公開レッスン等、後進の指導にも力を注いでいる。ピネローロ国際音楽コンクール第2位、他国内外の国際コンクールで上位入賞を果たす。近年はピアノデュオで東京ピアノコンクール、横浜国際コンクール第1位、日本アンサンブルコンクール優秀演奏者賞受賞等、他好成绩を収める。エリザベト音楽大学・大学院、広島文化学園大学、広島音楽高等学校非常勤講師。(社)日本演奏連盟、全日本ピアノ指導者協会正会員、日本ピアノ教育連盟会員。



加島 裕子 ピアノ

エリザベト音楽大学を経て同大学大学院修士課程修了。ボストン・ニューイングランド音楽院グラデュエイト・ディプロマコース修了。第17回飯塚新人コンクール部門第2位、飯塚教育委員会賞受賞。2004年、ロシアでサンクトペテルブルク国立交響楽団と共演。2006年～2009年、神戸にて藤田佳代舞踊研究所主催公演の初演を担当。2014年、日本の合唱団として初のニューヨーク国連本部での「平和と希望のコンサート」、広島市被爆70周年記念事業「国連合唱団平和と希望のコンサート」広島公演でピアニストを務める等、ソロ、室内楽の活動に加え、合唱の伴奏ピアニストとしても活動している。フェミニンコール広島伴奏ピアニスト、エリザベト音楽大学非常勤講師。

合唱団 響き&うた

公募による東広島市内外の市民、学生と、「合唱団うたがき」、「三善晃を唄う会」の協力による合同の合唱団。「混声合唱とピアノのためのその日 -August 6-」を初演で歌った「合唱団ある」のメンバーも数名参加いただいている。ステージ終曲「木とともに 人とともに」には東広島市立中黒瀬小学校合唱部の児童合唱も加わる。

公募参加者

〈ソプラノ〉 今岡 美緒 西元 成美 山崎 恵子 山村 ひとみ 寄原 洋子
〈アルト〉 岡 叔恵 勝池 有紗 城戸 宏江 國光 佳織 高濱 悦子 中川 美登里 灰山 久美子 八嶋 陽子
〈テノール〉 上田 雅紀 長戸 靖明 日高 征幸 松前 良昌
〈バス〉 佐々木 一隆 岡崎 康浩

合唱団うたがき



1998年に結成。自称「日本一ええかげんな合唱団」を唄え、はや19年目に突入。結成以来個性豊かな仲間たちと「歌うことに喜びと楽しさ」を感じながら、広島市内を中心に週一回研鑽を積んでいる。2016年3月にヴォーカルアンサンブルコンテストで優秀賞、8月に広島県合唱コンクールで銅賞受賞。その他、合唱フェスティバルなどで演奏。ジョイントコンサートや他県に飛びしての演奏など幅広い活動範囲を誇る。結成当初はここ西条が基軸にあり、縁深い地である。

〈ソプラノ〉 中野 美美子 渡邊 里美 〈アルト〉 井川 亜里沙 林 宏美 藤本 佳代
〈テノール〉 辻 猛夫 松江 真寛 〈バス〉 上田 正樹 佐藤 昂大 森木 昭博

三善晃を唄う会



三善晃先生の合唱作品を演奏するため、全国から参加者を募り夏の淡路島で合宿と発表会を開催する1年に一度だけの合唱団。2011年より、6回の開催を重ねている。初回より講師として指揮：西岡茂樹、ピアノ：浅井道子を招聘している。2017年8月25日～27日に第1期ファイナルとなる第7回を開催予定。現在、参加者募集中。過去の演奏や最新の情報をホームページに掲載している。

<http://miyoshiutaukai.wixsite.com/home>

〈ソプラノ〉 久保倉 あさ子 西岡 恵子 西山 貴子
〈アルト〉 宇城 昌里子 佐野 環 副島 麻里子 〈テノール〉 秋山 浩太 〈バス〉 田中 宏



西岡 茂樹 客演指揮

1955年兵庫県生まれ。合唱指揮を田中信昭、須賀敬一の両氏に師事。大学時代に三善晃氏との運命的な出会いを果たし、以来、40数年間に亘り、三善作品をライフワークとして追い続けている。指揮活動としての主な関心は、『世界に誇ることができる日本固有の合唱芸術の創造』にあり、現代日本の創作家の意欲的な作品を、委嘱初演を含めて、とりあげ続けている。現在、豊中少年少女合唱団、豊中混声合唱団、女声合唱団あい(山口県)他で指揮者を務めており、客演指揮、講習会の講師、コンクールの審査などの仕事も多い。関西合唱連盟理事、大阪府合唱連盟副理事長、日本合唱指揮者協会関西支部委員、21世紀の合唱を考える会「音楽樹」会員、奈良産業大学教授。ホームページ <http://www.nara-su.ac.jp/~nishioka/music.h> E-mail shigeki.nishioka@nifty.ne.jp



福政 歩 ピアノ

エリザベト音楽大学を経て同大学大学院を首席で修了。中四国新人演奏会、大学院新人演奏会等に出演。マンハイム国立音楽大学大学院、歌曲伴奏及び室内楽科を満点(最優秀)で修了。チューリッヒ音楽大学歌曲伴奏科修了。ブラウンヴァルト、ストラウスブルでの音楽祭をはじめ、ドイツ国内を中心に多数の演奏会に出演。またチューリッヒ音楽大学声楽科クラス、及びドイツ国内のリート講習会で伴奏助手を務める。帰国後、後進の指導を行う傍ら、リサイタル伴奏、合唱の伴奏を中心に演奏活動を行う。ピアノを故杉田谷道、チェンパロを光井安子、室内楽をアンドレア・ピストリウス、歌曲伴奏をアーウィン・ゲイジ、ウルリヒ・アイゼンロアの各氏に師事。

- ◇舞台監督 長戸 靖明 ◇ステージ・マネージャー 勝池 有紗
- ◇音楽スタッフ 公募合唱指導：山村 ひとみ 稽古ピアノ：藤田 光
- ◇合唱スタッフ 今岡 美緒 城戸 宏江 渡邊 里美
- ◇ステージ・フラワー・アレンジメント ますかわ花店

リナシメントご案内

いつまでも新鮮な気持ちで音楽に関わるよう、「再生」を意味するルネサンスのイタリア語「リナシメント」を団体名にしています。

1. 芸術音楽を志す音楽家各人の自由な意志、活動を尊重する。
2. 広く、芸術活動、音楽活動、文化活動との交流を奨励する。
3. 音楽文化振興活動、音楽による社会貢献活動を奨励し、寄与する。
4. 東広島市に拠点を置き、東広島市の音楽文化の発展に貢献するよう努める。
5. 音楽家の交流、研鑽、育成を目的とした試演会 (TRIAL CONCERT) を開催する。

以上の活動の指針により、平成9年発足以来、試演会 (TRIAL CONCERT) を35回企画開催 (東広島市の学園都市づくり交流会議と (財)東広島市教育文化振興事業団の「ふれあい広場」、「アザレア交流広場」を利用、主催開催)、芸術音楽文化振興の主催コンサート、音楽講座等を企画開催。平成23年1月に「響き&うた」の会を発足、邦人の音楽作品の紹介、後世に継ぎたい邦人音楽作品の演奏、音楽による新しいパフォーマンス etc、隔年でコンサートを開催している。このコンサートの趣旨からも創案した「邦人音楽作品の紹介」は、2015年の公益社団法人日本演奏連盟の50周年記念事業企画に応募し採用された。

2011年の東日本大震災を契機に年末にチャリティー・コンサートを開催、あしなが東日本大震災・津波遺児募金、災害支援等に寄附。今年12月にも「歳末たすけあいハートフル・コンサート」を開催予定。社会貢献のための声楽、器楽のソロ、合奏、合唱ハートフルアンサンブルの出張演奏も行っている。

非営利ボランティア団体として、ひがしひろしま生涯学習ボランティアグループ登録。東広島市男女共同参画推進室エスポワール団体登録。

リナシメント会員・運営役員 今岡 美緒 城戸 宏江 中村 あゆみ 福政 歩 山村 ひとみ (主宰・代表)

賛助会員ご芳名 岩田 妙子 大槻 温子 大藤 雅子 金居 恵子 小西 直子 白根 淑子 菅川 文子

中川 美登里 三浦 雅美 —— 現、会員、賛助会員 23名

賛助会員募集中！ 随時ご入会いただけます。

◇お問合せ◇山村 (090)9416-1639 ホーム・ページ http://www.geocities.jp/h_h_rinascimento/

合唱団うたがき 団員大募集！

歌うことが大好きなあなたを待っています。
私たちと一緒に歌いませんか？

練習日 週1回土曜 (または日曜) 18:00~21:00

練習会場 広島市内公民館など

詳細・問合せ うたがきHPで

<http://www4.hp-ez.com/hp/utagaki1998>

三善晃を唄う会 in 淡路島

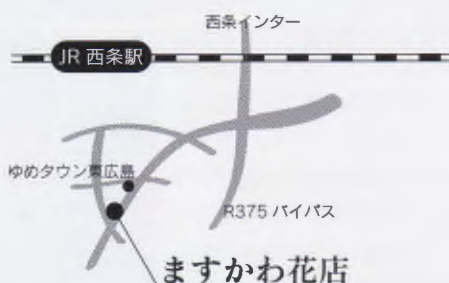
日時：2017年8月25日~27日

指揮：西岡 茂樹 ピアノ：浅井 道子

会場：洲本市立文化体育館しばえもん座

最新情報はホームページをご覧ください

<http://miyoshiutaukai.wixsite.com/home>



まさかわ花店

<http://www.masukawa-flower.com>

東広島市西条土与丸1丁目5-46 TEL/FAX: 082-423-8701